

日本共産党品川区議会議員

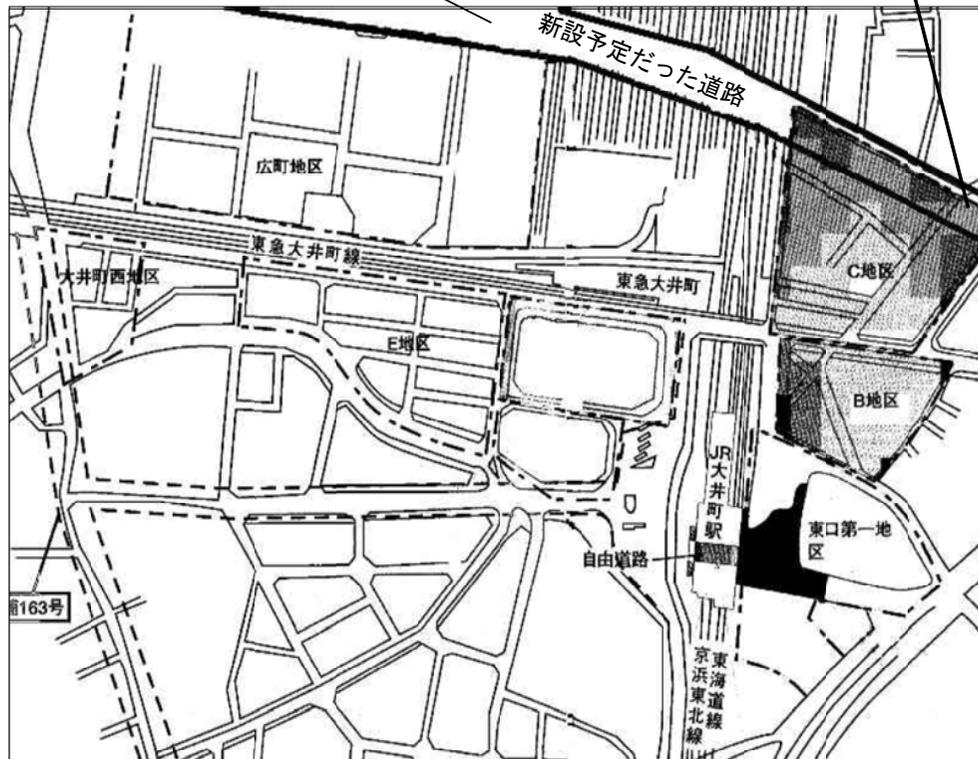
# 菊地貞二

週刊区政ニュース第347号

07年10月21日発行

## 再度頓挫した広町再開発計画

# ひそかにつくったC地区巻き込み計画



### 総額1億1200万円の調査費

### 172億円の土地購入

.....

広町再開発計画はJRとの協議が進められていたが現時点では不可能とした回答があったことが報告されました。この計画はすずらん通り商店街を中心とした東大井C地区を巻き込んだものとなっていました。

.....

品川区は2800万円  
の調査費を投入し85  
年から86年にかけて、  
JR敷地内の再開発調  
査をおこなっています。  
大井プレイス構想と銘  
打たれた計画はJR工  
場、社宅を含む28haと  
いう広大な敷地にホテ

ル、マンションをはじ  
め文化施設、業務施設、  
商業施設などを集中さ  
せる計画でした。この  
ために区役所前の16  
3号線を大井町・大崎  
連絡道路として拡幅、  
大井町線の地下化をは  
かり現在のサンピア通  
92年4月、旧国鉄敷地

り商店街を撤去させ拡  
幅、さらに163号線  
の新幹線高架橋近くか  
ら国道15号線にぬける  
東西幹線をあらたに建  
設するといふ青写真ま  
でつくりあげていまし  
た。この計画をもとに

7500平米をJR清算事業団から157億1696万円で買い受けたのが品川区土地開発公社。その後この土地が172億4339万円で品川区に転売されたのが92年から94年です。1年も経たずに15億円余が値上がりしたことになります。この際、品川区の説明は「広町二丁目公園用地に充てるため、土地を取得する必要がある」

### くらし守ってこそそのまちづくり

今回の説明では東西を貫く道路がサンピア通りしかないこと、高層ビルの建設に必要な杭を打ち込むことが構造上困難であることな

東大井と南品川の境界となつているC地区再開発計画地からゼームス坂を結ぶ道路建設が予定されていきました。そのため広町再開発とC地区再開発は切り離すことの出来ない一体の計画でした。

東大井と南品川の境界となつているC地区再開発計画地からゼームス坂を結ぶ道路建設が予定されていきました。そのため広町再開発とC地区再開発は切り離すことの出来ない一体の計画でした。

C地区計画は権利者の反対で凍結されたままとなつていますが、大井町周辺のまちづくりが住民を無視して進められてきたことは大きな問題です。また、高層化のための杭打ち

は困難なことは当初からわかっていたことです。乱開発を防ぐための計画だとしています。超高層ビルの建設こそがまちづくりとは無縁な乱開発です。膨大な調査費用と開発種地購入はムダな予算の使い方であり、品川区はその責任を明確にすべきです。

広町アパートには700世帯の住民がくらし、サンピア通りでは多くの商店が営業しています。C地区は昔からの住民が暮らし小さな飲食店、商店が軒を連ねています。

品川区はこれらの住民によって形作られた町の歴史と文化を根底から破壊する超高層ビルが林立する再開発ではなく、地域住民が安心してくらししていくことの出来るまちづくりこそ応援すべきではないでしょうか。

## 無料法律相談会 (生活相談は随時)

とくろ すすらん通り事務所

日時 11月28日(水)

午後6時～8時



電話予約は03-5621-0001、お問い合わせは03-5621-0002